

# 施政方針と26年度予算編成



## 「住み続けたいと思える八千代市」の実現に向けて

26年第1回定例市議会は、2月21日から3月20日まで開催されました。秋葉就一市長の施政方針、26年度予算編成、重点施策を紹介いたします。定例市議会の結果は4月15日号に掲載します。

問い合わせは総務課（予算額については財政課）☎ 483-1151へ。

### 施政方針

本市は、第4次総合計画に示された将来都市像や基本理念に基づいた行財政運営を行い、少子高齢化、環境問題、地方分権社会への対応といった時代的な課題に対応したまちづくりを進めています。

昨年度の主な取り組みは、4月の市民会館と勝田中央公園のリニューアルオープンをはじめ、学校給食センター西八千代調理場、やちよ農業交流センターなどを開設し、城橋には歩行者専用の側道橋を新設しました。

また、八千代台東小学校と八千代台東第二小学校を統合し、新たに八千代台東小学校としてスタートさせたほか、防犯灯を自治会から市に移管することで自治会の負担軽減などを図りました。

加えて、小中学校校舎の耐震改修工事を引き続き進め、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドの本体工事、清掃センター焼却炉の長寿命化工事に着手。郷土博物館の防水工事などを実施しました。

一方で、昭和40年代から50年代に建設された多くの公共施設が老朽化し、維持・更新に多額の費用がかかることから、迅速かつ効果的に公共施設の再配置などを行う必要があります。このため、公共施設の更新問題に精通した有識者3名を委員とする「公共施設再編に係る有識者会議」を10月に設置しました。

また、公共施設の地震防災対策として、昭和56年の建築基準法改正以前の基準で建設された公共施設を計画的に耐震化するため、「市有建築物の耐震化整備プログラム」を作成しました。

そのほか、地域防災計画や都市マスタープランを見直したほか、熱中症予防のための一時休憩所として市内の公共施設を開放した「八千代オアシス」事業や、学校プール市民開放事業を実施しました。

また、市民が食料品を事前予約で持ち込み検査で

きる放射性物質簡易検査器を導入したほか、ブックポストの増設、コミュニティバスの試行運行の見直しも行いました。

子育て支援では子ども・子育て会議条例を制定し、市民公募委員5名を含む子ども・子育て会議、健康の分野では歯と口腔の健康づくり推進会議、観光振興の分野では観光振興懇談会を設置しました。

新年度は、3ページ以降の重点施策の概要と一般会計主要事業に掲げるもののほか、小規模保育園3園の開園を含む待機児童対策、子ども医療費助成の対象年齢の拡大などに取り組みます。また、新たな市民参加の手法を導入し、28年度から始まる第4次総合計画後期基本計画の策定に着手します。

公共施設の再配置などは、「公共施設再編に係る有識者会議」の提言を踏まえて、公共施設再編に係る計画づくりに取り組みます。

併せて、昨年大きな被害をもたらした台風災害を教訓として、災害対策の強化・充実を図ります。

財政面では、財政診断や、近隣の同規模市などを参考にしながら、財政指標に新たな目標値を設定し、健全化に取り組みます。

持続可能な財政基盤の構築と市民サービスの向上との両立という課題の達成を目指し、第4次基本構想の将来都市像である「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市八千代」と、マニフェストに掲げている「住み続けたいと思える八千代市」という理念の融合を図りながら、まちづくりに取り組みます。

### 26年度予算編成と規模

国の景気は回復傾向にありますが、市の財政は大規模建設事業による予算規模の増大で、引き続き、厳しい財政状況となることを見込まれます。

このことから、子育て・教育・高齢化対策などの諸施策を推進し、計画事業は選択と集中の観点で、よ

り効率的で効果的な方策を模索して優先化を図るとし、「財政基盤確立のための歳入確保に向けた取り組みの強化」、「財政健全化に向けた維持管理経費等の徹底的な検証と見直し」、「総合計画における計画事業の再検証」、「行財政改革の適切な推進」、「監査結果に基づく指摘・要望事項等への迅速な対応」の5つの基本的方針を掲げ、「住み続けたいと思える八千代市」の実現に向けた予算編成を行いました。

歳入面では、前年度当初予算と比較すると、人口や給与所得の伸び悩みで市民税個人分が減少していますが、固定資産税・都市計画税が増加し、市税全体では横ばいが見込まれます。社会保障と税の一体改革に基づく消費税率引上げによる地方消費税交付金、大規模建設事業に伴う国庫支出金、市債などの依存財源の大幅な増加を見込み、財政調整基金繰入金などで必要な財源の確保を図りました。

歳出面では、子育て・教育・高齢化施策として、八千代台東小学校の校舎改築とあわせた敷地内への八千代台東学童保育所の移転新築、子どもの保健対策の充実や保護者の経済的負担の軽減を目的とした子ども医療費の助成対象年齢の拡充、小学校などの学級費対応消耗品の配当、計画の最終年度を迎える新川周辺地区都市再生整備計画事業のほか、施設の老朽化対応を含めた小・中学校校舎などの地震補強や改築を引き続き実施するなど、市民ニーズに即した、安全・安心施策に配慮した事業を重点的に計上しました。

26年度当初予算の規模は一般会計で601億2,691万4,000円※と、人件費の削減、公債費などの減要因はありますが前年度比82億7,891万4,000円※、16.0パーセント※の大幅な増となりました。国民健康保険事業など4つの特別会計は総額299億4,097万6,000円、前年度比で2.4パーセントの増、公営企業会計では水道事業会計と公共下水道事業会計を合わせて125億2,238万8,000円、前年度比13.9パーセントの増となりました。

一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた市全体の予算規模は1,025億9,027万8,000円※、前年度比11.4パーセントの増となりました。

※は修正案可決後の数値

### 資源物（びん、缶・金属類）の出し方について

びん、缶・金属類については、種類ごとに分別してコンテナに入れていただいています。最近コンテナに入れず、ビニール袋に入れたまま出している人がいます。

資源物を出す際は、必ずビニール袋から出して、びんと缶・金属類に分別してコンテナに入れてください。

リサイクル推進のため、適正処理にご協力をお願いします。

コース	該当地域	指定袋使用		資源物			コース	該当地域	不燃ごみ	有蓋ごみ	可燃ごみ	びん・缶・紙類	紙類
		不燃ごみ	有蓋ごみ	可燃ごみ	びん・缶・紙類	紙類							
4月の資源物・ごみ収集日 平日9時～16時30分祝日を除く 粗大ごみ受付専用電話 047(483)4506 (収集依頼受付・要予約)	大和田(成田街道南側)、萱田町(成田街道南側)、村上(3200・3300・3500番台の成田街道南側)、大和田新田(県道幕張八千代線より東側)、高津(県道幕張八千代線より東側)	1 第1火	15 第3火				9	村上(成田街道北側で新川西側)、萱田町・萱田・大和田(成田街道北側から東葉高速線南側)、大和田新田(300・400・500・700番台の成田街道北側から東葉高速線南側)、ゆりのき台1・2丁目	3 第1木	17 第3木			
	八千代台北	8 第2火	22 第4火				10	高津(県道幕張八千代線より西側)、高津東大和田新田(100・200番台の成田街道南側)	10 第2木	24 第4木			
	八千代台西、八千代台南	15 第3火	1 第1火				11	高津団地、大和田新田(1～99番地の成田街道南側)	17 第3木	3 第1木			
	八千代台東	22 第4火	8 第2火				12	大和田新田(900・1000・1100番台の成田街道北側から東葉高速線南側)、緑が丘2～4丁目	24 第4木	10 第2木			
	上高野	2 第1水	16 第3水				13	勝田台	4 第1金	18 第3金			
	村上団地	9 第2水	23 第4水				14	勝田台南、勝田、ゆりのき台3～8丁目、麦丸萱田町(東葉高速線北側)、萱田(東葉高速線北側)	11 第2金	25 第4金			
	村上(新川の東側)、下市場、村上南、勝田台北	16 第3水	2 第1水				15	大和田新田(東葉高速線北側)、吉橋、尾崎、緑が丘1・5丁目	18 第3金	4 第1金			
	神野、下高野、堀ノ内、保品、米本団地、米本	23 第4水	9 第2水				16	大学町、真木野、小池、佐山、平戸、神久保、島田台、島田、桑橋、桑納	25 第4金	11 第2金			

◆お問い合わせは、クリーン推進課☎(483)1151または清掃センター☎(483)4521へ